栃木県議会議長 様

小・中・高校での少人数学級実現と私学助成の充実を求める請願

請 願 の 趣 旨

1 小・中・高での３０人以下学級を実現してください。特に、早急に中学校での３５人学級をすべての学年で実施してください。
2 教職員を増やして、ゆとりのある学校をつくってください。
3 県の教育予算を増やしてください。
4 私学への経常費助成を大幅に増額してください。また、授業料の直接助成を行い、授業料減免や奨学金制度を充実させてください。
5 義務教育の国庫負担制度、私立学校に対する国庫補助制度の堅持を今後も国に求めてください。
6 希望するすべての障害児に、義務教育終了後の教育を保障・充実してください。
7 教育費の父母負担軽減のために、給食費や修学旅行費などの無償化計画を立ててください。

請 願 の 理 由

昨年から栃木県でも中学校１年生での３５人学級が実現されました。１年生の時は実質的な３０人学級だったのが、この４月から３８～３９人になってしまった学級があちこちに現れてしまいました。このような教育条件の大幅な変更をなくし、どの学年でも３５人学級を実施することは、保護者や教職員、そして子どもたちにとっても切実な願いです。また、他の道府県に学んで、小学校でも早急に少人数学級導入に踏み出すときです。長引く不況が私学へ通う子どもたちや家計を苦しめています。少子化の中、私学の安定と経営の充実のため、大幅な助成が必要です。

憲法や教育基本法、子どもの権利条約に基づき、豊かな教育活動が行われるよう上記の項目について請願します。

名　　前	住　　所

取り扱い団体　ゆきとどいた教育をすすめる栃木県連絡会

（　　）

衆議院議長 様
参議院議長 様

すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるための請願

請 願 の 趣 旨

1 ゆきとどいた教育をすすめるために、教育予算を増額してください。
2 教育水準の格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度を堅持してください。
3 ゆきとどいた教育のために、国の責任で小中高の３０人以下学級と教職員定数増をおこなってください。私学で３０人学級をおこなうための特別助成を実施してください。
4 私学助成の国庫補助制度を堅持し、私学助成を大幅に増額してください。特に、経常費２分の１助成を実現してください。また、授業料直接助成、施設助成を実施してください。
5 公立・私立の児童・生徒への修学援助・授業料減免制度、奨学金制度などを充実してください。教育費減税をはじめ、教育費の父母負担を軽減する措置をおこなってください。
6 障害児学級・学校を減らすのではなく、必要な障害児学級・学校を増設してください。障害児学校の担任を減らすのではなく、通常学級に在籍する障害児等の教育条件を整備してください。

請 願 の 理 由

憲法や教育基本法、子どもの権利条約にもとづいて、一人ひとりの子どもたちに豊か心と確かな学力を保障し、希望をはぐくむ教育を実現することは、国民共通の願いです。

こうした世論に応えて、４３道府県が少人数学級を導入しています。今こそ、国の責任ですべての学校で３０人学級を実現すべきです。

また「教育の機会均等」を保障するためにも、私学助成の大幅な増額が不可欠です。

上記の各請願事項のすみやかな実現を求めます。

名　　前	住　　所	募金

取り扱い団体　ゆきとどいた教育をすすめる栃木県連絡会

（　　）

代表派遣等の費用にあてますので、募金へのご協力もお願いします。